

2023年2月9日

各位

 会社名 シルバーエッグ・テクノロジー株式会社
 代表者名 代表取締役社長

 トーマス・アクイナス・フォーリー
 (コード番号: 3961 東証グロース)

問合わせ先 管理部 ディレクター代行

樋之内 幸正

TEL. 06-6386-1931

2022年12月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ2022年2月10日に公表いたしました2022年12月期の通期連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 2022年12月期通期連結業績予想数値の修正 (2022年1月1日～2022年12月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,332	百万円 50	百万円 50	百万円 62	円 銭 21.14
今回修正予想 (B)	1,241	99	80	9	3.16
増減額 (B - A)	△91	49	29	△53	
増減率 (%)	△6.8	98.8	59.7	△85.5	
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	1,209	217	209	202	68.32

2. 修正の理由

2022年12月期の通期連結会計期間の業績予想につきましては、ウクライナ侵攻に起因する世界情勢不安、経済環境の変化にさらされている中、新型コロナウイルス感染症についてもワクチン接種が日本国内でも浸透し始めたとはいえ、いまだ感染者数は終息には至らず、総じて当社を取り巻く業界動向は一年を通じて常に不安定な中で推移いたしました。このような中、営業収益面につきましては、上半期は堅調に推移したものの、上記の状況から様々な影響を受け、一部ではありますが新規受注等について時期がずれ込む等、特に第4四半期が当初計画未達となったことを受け、最終的には1,241百万円(前回公表比6.8%減)の見込みとなる一方、利益面につきましては、次年度以降への成長に向けた対策及び投資として優秀な人材獲得を優先して実行してまいりましたが、採用計画の年度後半への実行ずれ、業務の効率化や、円安の影響を受けたクラウド費用を中心とした通信費を始めとする固定費コスト削減の徹底を行った結果、営業利益は99百万円(前回公表比98.8%増)、経常利益は80百万円(前回公表比59.7%増)と当初公表数値を大きく上回ることとなりました。親会社株主に帰属する当期純利益

につきましては、子会社の清算手続きに伴う評価性引当金の増加等により、法人税等を 70 百万円計上した事等により 9 百万円（前回公表比 85.5%減）となります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。今後、業績予想の修正が必要と判断される場合には、速やかに開示をいたします。

以 上